



箕面小だより



箕面市立箕面小学校
令和8年度(2026年度)6月号
5月29日(金)配信

学校教育目標
めざす子ども像
めざす学校像

支え合い、ともに伸びゆく箕面小っ子

ともに考える子(知)、ともに高め合う子(情)、ともにやりぬく子(意)

○あいさつと笑顔であふれる学校

○高学年が在校生の「あこがれ」の存在となる学校

○思いやりと優しさが感じられる学校

○保護者・地域とともにあゆみ、信頼される学校

“好き”から広がる学び

校長 辻野 夏奈江

新年度が始まり二か月が過ぎ、子どもたちもそれぞれの学級や学校生活に少しずつ慣れ、落ち着いた日常が見られるようになってきました。そうした中、先日、四年生以上の子どもたちによる今年度初めてのクラブ活動が行われました。本校では、バスケットボールやバドミントン、屋外スポーツ、ダンスなどの運動系のもの、理科や将棋、イラスト、茶道、手芸などの文科系のものもあり、計15個のクラブがあります。また、通常の授業時間より長くし、55分間を活動時間としています。活動場所をのぞいてみると、どのクラブでも子どもたちのいきいきとした表情が印象的でした。初めて参加する四年生は、期待と少しの緊張を抱えながらも、上級生の様子をよく見て活動に加わろうとする姿が見られました。一方、五・六年生は、これまでの経験を生かしながら、道具の使い方を教えたり、活動の進め方を相談したり、部長や副部長として立候補したりする姿も見られ、頼もしさを感じました。

クラブ活動は、自分の興味や関心に基づいて選び、異なる学年の仲間とともに活動する時間です。そこには、教科の学習とはまた違った学びがあります。自分の「好き」や「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、試行錯誤したり、仲間と協力したりする中で、主体性や協調性、そして新たな気づきが生まれていきます。また、学年を越えて関わることで、上級生は「リーダーシップを発揮すること」「思いやりを育むこと」の大切さを学び、下級生は「まねること」「学ぶこと」のよさやコミュニケーション能力の向上につながります。このような関わりの中で育つ力は、これからの学校生活だけでなく、将来にわたって大切にしたい力でもあります。これから回を重ねるごとに、子どもたちは活動に慣れ、それぞれのクラブの中で役割を見つけながら、さらに主体的に取り組んでいくことでしょう。異学年の友だちも増え、色々な考え方に触れていくことでしょう。そうした学年を超えた関係性も経験もまた、大切な学びの一つです。

本校では、「支えあい、ともに伸びゆく箕面小っ子」の育成をめざしています。クラブ活動の中で見られる、互いに声をかけ合い、教え合い、認め合う姿は、まさにその目標に向かう大切な一歩です。子どもたち一人ひとりの「好き」という気持ちが、仲間とのつながりを生み、学びをより豊かなものにしていくことを願っています。今後も、子どもたちの主体的な活動を大切にしながら、その成長を見守り、支えてまいります。保護者の皆様におかれましても、ぜひご家庭でクラブ活動の様子について話題にいただき、子どもたちの意欲やがんばりに温かい言葉をかけていただければ幸いです。

1年	入学して2か月が経ちました。給食当番やそうじなど、自分の役割を考えて動けるようになってきました。友だちと声をかけ合い、助け合う姿も増え、心が温かくなる毎日です。	2年	1~9の数を使って、引き算の筆算を作りました。友だちと協力して取り組み、子どもたち同士の「つながり」を感じました。さらに「つながり」が深まる6月にしていきたいと思っています。
3年	かけ算の勉強をもとに、わり算の勉強にチャレンジしています。また、誰かが困っている姿を見たら声をかけることや、すぐに手伝ってあげる姿が見られるようになりました。6月は校外学習に行きます。	4年	駆け抜けるように過ぎた2か月でした。そんな中でも、時間を守って授業を始めようとする姿、牛乳パックをきれいに伸ばして片づける姿。当たり前のことをきちんとしようとする子どもが、ぐんと増えてきています。
5年	学年目標「じ・あ・お でGO!!!(自立・安心・思いやり)」のもと、互いに声をかけ合いながら行動する姿が増えてきました。レイクスクールに向けても、安心して過ごすためのルールを考えながら、楽しみに準備を進めています。	6年	来月は、待ちに待った修学旅行があります。修学旅行の目標は『平和を学ぶ・楽しい思い出をつくる』です。修学旅行に向けて、実行委員を中心につくりあげてきました。当日は、全員で楽しく思い出に残る修学旅行になるよう全員一丸となって協力していきたいと思っています。体調管理等には十分ご注意ください。